

## 幸先詣について

幸先詣とは、新型コロナウイルス感染予防対策として、初詣の分散を目的とした試みです。様々な新しい生活様式が提唱されている中の一環としてご理解ください。

命名の由来は「幸先よく新年を迎えられますように」という願いが込められています。

期間は12月13日の「正月事始め」の日から12月31日までです。

正月事始めとは、新年を迎えるための準備を始める日とし、昔から「煤払い」や、門松の材料を取りに行く「松迎え」、お雑煮をたくための薪などを山に取りに行く習慣がありました。京都祇園では、今でも芸妓や舞妓が師匠宅やお茶屋を訪れ、挨拶周りをする習わしが続いているそうです。

幸先詣では、例年年明けに授与していた御神矢・熊手・土鈴などの縁起物を年内に授与します。

お正月を迎える準備を早めに整え、自宅などでゆったりと過ごしてみませんか。